

第6期事業報告書

第6期決算報告書

第6期監査報告書

2022（令和4）年6月 1日から

2023（令和5）年5月31日まで

2023（令和5）年7月12日

1) 役員構成及び社員数の増減

役員構成

理事長	坂井 秀也
副理事長	平野 克己
副理事長	高橋 大
理事	稲田 健
理事	白石 公郎
理事	小泉 雄一
監事	望月 徳三
アドバイザー	福田 良介
アドバイザー	奴間 伸茂
シニアサポーター	木下 稔夫
シニアサポーター	藤井 俊治

社員数の増減

	2022 (令和4)年 6月1日現在	2023 (令和5)年 5月31日現在
団体会員	2	3
法人会員	12	14
個人会員	8	7
ネット会員	0	0
合計	22	24

新入会員

団体会員：日本工業塗装協同組合連合会

法人会員：(株)セブナ装機

協和機工(株)

個人会員：福田良介

2) 事業報告

(1) 継続事業実績

内部事業としては、合同会議およびIPCO STUDYでの講演及び講習によるスキルアップ推進を図るとともに、対外事業としてはコーティングジャパンでの塗装セミナーへの参画を実施しました。

① 合同会議の開催

第1回(ハイブリッド開催) 2022年6月14日(火)13:30~16:30

- ・ 報告
 - ・ 委員会 報告
 - ・ コーティングジャパン関西での講演 報告
- ・ 講演

- ・CO2 排出量の測定
戸崎産業(株) 代表取締役 戸崎寿人
- ・塗装が脱炭素化社会に適応するにあたって
(株)ヲサメ工業 東京事業部 中村芳生
- ・Zero Board 活用に関して
長瀬産業(株) サステナビリティ推進本部 サステナビリティ推進室 成田昇

第2回(ハイブリッド開催)2022年8月24日(水)13:30~16:00

- ・<IPCO STUDY>
 - ・LCAの基礎とSuMPOのサービスについて
一社)サステナブル経営推進機構 カーボンニュートラル事業部 澤村翔太
- ・プレゼンタイム
 - ・エア漏れ検知サービスのご紹介
協和機工(株) 代表取締役 三家本 輝男
 - ・ホワイトグラスウールを使わないジャケット式の断熱カバー
『ラギングカバーNGW』のご紹介
ノエムズプラン(株) 代表取締役 寺本栄一郎
- ・報告
 - ・2022年度IPCO事業計画紹介
「コーティング・コンソーシアム」取組みについて 他
 - ・東京都環境局「令和4年度夏季VOCセミナー」紹介
東京都環境局 環境改善部 化学物質対策課 近松康樹
 - ・都産技研共同開発案件「VOC常時監視システム」経過報告
(株)コニファ 代表取締役 堀千佳子

第3回(ハイブリッド開催)2022年10月19日(水)13:00~16:30

- ・<IPCO STUDY>
 - ・脱炭素社会に向けた新たなチャレンジテーマについて
*IPCO「DX推進」取組み紹介 塗料・塗装業界の環境影響評価に資するデータ管理のルール化
塗装ネットワーク委員会 白石公郎
- ・委員会報告

第4回(ハイブリッド開催)2022年12月15日(木)13:30~16:30

- ・<IPCO STUDY>
 - ・悪臭分析調査について
東京都立産業技術研究センター 事業化支援本部地域技術支援部
臭気判定士 佐々木直里
 - ・バイオ溶剤と溶剤リサイクル
日本リファイン(株) 水谷秀臣
- ・報告
 - ・水素発電見学レポート
 - ・コーティングジャパン東京 塗料・塗装セミナー報告

第5回(ハイブリッド開催)2023年2月16日(木)13:30~16:30



・ <IPCO STUDY>

- ・ 塗装乾燥炉における水素バーナーのご紹介

(株)ヒートエナジーテック 営業統括本部 課長 大塚竜一 課長補佐 小関惇

・ 報告

- ・ コーティング・コンソーシアム取組み状況
- ・ 高度ポリテクセンター塗装講座
- ・ 悪臭測定進捗報告
- ・ 関西コーティングジャパン 2023 での講演

第 6 回(ハイブリッド開催)2023 年 4 月 20 日(木)13:30~16:30

・ <IPCO STUDY>

- ・ 最近の RFID の活用事例

(株)サトー FA 公共営業部 部長 中道寛典

- ・ CO2 削減効果最大のカギは身近な排水・排ガスからの熱回収にあり

MDI(株) 代表取締役 岩澤賢治

・ 報告

- ・ コーティング・コンソーシアム取組み状況
- ・ 悪臭測定進捗報告
- ・ 関西コーティングジャパン 2023 での講演

② コーティングジャパン東京・関西コーティングジャパン 講演

- ・ テーマ：工業塗装のカーボンニュートラルを目指して

コーティングジャパン東京 2022 年 12 月 7~9 日 幕張メッセ

(IPCO 講演は 12 月 7 日)

これまでのアンケート結果の要望から、後半は日本塗料工業会協力のもと

塗料メーカーのリレー講演を行いました。

講演者	講演テーマ
コーティング・コンソーシアム Chairman 児島 與志夫 Co-Chairman 坂井 秀也	塗料・塗装業界のつながり提案
国際工業塗装高度化推進会議 塗装ネットワーク委員長 白石 公郎	塗料・塗装業界の環境影響評価に資するデータ管理のルール化
日本パウダーコーティング協同組合 専務理事 福田 良介	粉体塗料の概況/持続可能な工業塗装を目指す 会員紹介
塗料メーカーPart	
水谷ペイント株式会社 専務取締役 水谷 勉	新しい水系 2 液型アクリルエマルション樹脂
斎藤塗料株式会社 技術部チームリーダー 池田 宏文	現代社会における溶剤系塗料がもたらす価値について
久保孝ペイント株式会社 研究技術部グループリーダー 松村 雅之 研究技術部 釦木 順一	工程削減と環境負荷低減に貢献する久保孝ペイントの取り組みと提案



関西コーティングジャパン 2023年5月17～19日 インテックス大阪
(IPCO 講演は5月18日)

日本塗料工業会も含め3団体で1日ずつを担当しました。

講演者	講演テーマ
(有)シーティータカハタ 代表取締役 高畑 和幸	脱炭素社会に対応した高圧熱風乾燥炉
協和機工(株) 代表取締役 三家本 輝男	工場のエア漏れ検査から始める省エネ活動～ 人間に健康診断があるように、工場にも健康診断を！～
東和酵素(株) 営業技術部部长 内山 貴識	工業塗装における VOC 発生源を考える
(株)大瀧商店 代表取締役 大瀧 吉宏	廃粉体塗料の再利用
IPCO 関西分科会 広瀬 正夫	塗装ブース水のリサイクル使用装置
IPCO 関西分科会 古野 伸夫	電着塗装と水素回収

講演聴講者数の推移

	2023 大阪		2022 東京		2022 大阪		2021 東京	
	担当	平均/講演	担当	平均/講演	担当	平均/講演	担当	平均/講演
初日	JPMA	50	IPCO	21	CEMA	26	CEMA	31
2日目	IPCO	36	CEMA	28	IPCO	28	IPCO	22
3日目	CEMA	40	CEMA	35	CEMA	29	CEMA	40
計		42名		31名		27名		31名

③ 関西分科会の活動

平野副理事長を中心に定期的に会合を開催、5月の関西コーティングジャパンでは2名の方が30分ずつ講演しました。

(2) チャレンジテーマ実績

- ① 日本塗料工業会、日本塗装機械工業会と当社団の共同運営による「コーティング・コンソーシアム (CoCo)」に創設より関わり、参画しました。
現在、工業塗装業界のLCA推進のため「CO2排出量調査」を実施中です。
- ② 会員増強においては、団体加入として日本工業塗装協同組合連合会のほか、企業の増加及び個人による増減がありました。
- ③ 工業塗装の現場改善としては、「塗装工場の臭気調査」を東京都産業技術研究センターの協力により、今後の事業課題に有益なデータ確保が得られました。なお「VOCセンサー」の活用も進めています。
- ④ IPCOカレッジ構想に先立ち、リカレント事業として「高度ポリテクセンター」の能力開発セミナーへの対応を進めました。



貸借対照表

2023年5月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I、資産の部			
1、流動資産			
普通預金	1,692,871	978,394	714,477
小口現金	0	6,000	▲ 6,000
流動資産合計	1,692,871	984,394	708,477
2、固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
積立資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他固定資産	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	1,692,871	984,394	708,477
II、負債の部			
1、流動負債			
未払金	19,022	0	19,022
預り金	568	0	568
流動負債合計	19,590	0	19,590
2、固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	19,590	0	19,590
III、正味資産の部			
1、指定正味財産			
国庫補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	()	()	()
(うち特定財産への充当額)	()	()	()
2、一般正味財産			0
一般正味財産	1,673,281	984,394	688,887
(うち基本財産への充当額)	()	()	()
(うち特定財産への充当額)	()	()	()
正味財産合計	1,692,871	984,394	708,477
負債及び正味財産合計	1,692,871	984,394	708,477

正味財産増減計算書

自 2022年6月1日 至 2023年5月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I、一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0		0
特定資産運用益	0		0
1) 退職給付引当資産	0		0
2) 積立資産	0		0
受取会費			
1) 正会員年会費			
① 団体会員(120,000円)	300,000	240,000	60,000
② 法人会員(60,000円)	750,000	690,000	60,000
③ 個人会員(12,000円)	102,000	90,000	12,000
2) 賛助会員会費(60,000円)			0
事業収益			
1) IPCO STUDY事業収益			0
① 一般参加料	0	0	0
② その他収益	0	0	0
2) IPCOカンファレンス事業収益			0
① 出展料	0	0	0
② 入場料	0	0	0
③ その他収益	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金(使途制限なし)	0	0	0
受取寄付金(使途制限あり)	0	10,000	▲ 10,000
前期繰越金(預金・現金)	984,394	369,695	614,699
雑収益(カンファレンス会費・受取利息)	12	9	3
経常収益計	2,136,406	1,399,704	736,702
(2) 経常費用			
事業費			
1) 講師費用※源泉含む	42,273	44,547	▲ 2,274
2) 会場使用費	0	0	0
3) 機材レンタル費	0	0	0
4) 旅費交通費	0	0	0
5) 宣伝広告費	0	153,626	▲ 153,626
6) 会議費(お茶・弁当)	0	0	0
7) 通信費	0	28,330	▲ 28,330
8) 運搬費	0	0	0
9) 備品・消耗品費	0	5,390	▲ 5,390
10) 図書印刷費	0	63,265	▲ 63,265



11) 調査費	53,820	0	53,820
12) 雑費	0	0	0
管理費			0
1) 役員報酬	0	0	0
2) 事務局報酬	0	0	0
3) 臨時雇賃金	0	0	0
4) 福利厚生費	0	0	0
5) 退職給付費用	0	0	0
6) 旅費交通費	0	0	0
7) 宣伝広告費(広告出稿等)	86,000	0	86,000
8) 会議費	9,000	0	9,000
9) 通信費	40,992	8,892	32,100
10) 運搬費	12,830	0	12,830
11) 事務所費	100,000	0	100,000
12) 備品・消耗品費	3,850	0	3,850
13) 事務委託・顧問費			
① 事務代行費	0	0	0
② 電話代行	0	0	0
14) 租税公課(印紙代・都民税)	70,000	110,600	▲ 40,600
15) 減価償却費	0	0	0
16) 図書印刷費	0	0	0
17) 雑費	41,500	0	41,500
18) 会費徴収不能額	0	0	0
19) 支払負担金(振込手数料)	2,860	660	2,200
20) 支払寄付金	0	0	0
21) 支払利息	0	0	0
経常費用計	463,125	415,310	47,815
評価損益等調整当期経常増減額			
基本財産評価損益			0
特定資産評価損益			0
評価損益等計			0
当期経常増減額	1,673,281	984,394	688,887
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
固定資産売却益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			0
災害による損失			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,673,281	984,394	688,887
一般正味財産期首残高			0
一般正味財産期末残高	1,673,281	984,394	688,887



II、指定正味財産増減の部			0
受取補助金等			0
一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III、正味財産期末残高	1,673,281	984,394	688,887



損益計算書

自 2022年6月1日 至 2023年5月31日

(単位：円)

項目		金額	
売上高			
	公益事業の売上		0
	収益事業の売上		0
	売上高合計		0
売上原価			96,093
	売上総利益		-96,093
販売費及び一般管理費(法人税、住民税及び事業税を除く)			297,032
	営業利益		-393,125
営業外収益			
	受取会費	1,152,000	
	受取補助金等		
	受取負担金		
	受取寄付金(使途制限なし)		
	受取寄付金(使途制限あり)		0
	前期繰越金(預金・現金)	984,394	
	雑収益		12
	営業外収益合計		2,136,406
営業外費用			
	支払寄付金		
	支払利息		
	営業外費用合計		0
	経常利益		1,743,281
特別利益			
	固定資産売却益		
	特別利益合計		0
特別損失			
	固定資産売却損		
	災害による損失		
	特別損失合計		0
	税引前当期純利益		1,743,281
	法人税、住民税及び事業税		70,000
	法人税等調整額		0
	当期純利益		1,673,281

付 属 明 細 書

2023年5月31日現在

1、基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額	脚注
基本財産		0	0	0	0	
	基本財産計	0	0	0	0	
特定資産	退職給付引当資産	0	0	0	0	
	積立資産	0	0	0	0	
	特定資産計	0	0	0	0	

※重要な増減があった場合には、その理由、資産の種類、具体的な内容及び金額を脚注に記載する。

財務諸表に対する注記

2023年5月31日現在

一般社団法人 国際工業塗装高度化推進会議

財務諸表に対する注記については下記の通りとする。

1、継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

2、重要な会計方針

(1) 会計方針

公益法人会計基準(平成20年12月1日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法による原価法による。

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

(5) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるために、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(6) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書は作成していない。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3、会計方針の変更

該当事項なし。

4、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
該当事項無し	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職金給付引当資産	0	0	0	0
積立資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0



5、基本財産及び特定資産の財産等の内訳

基本財産及び特定資産の財産等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
該当事項無し	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職金給付引当資産	0	0	0	0
積立資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

6、担保に供されている資産

該当事項なし。

7、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
該当事項なし	0	0	0
合計	0	0	0

8、債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
該当事項なし	0	0	0
合計	0	0	0

9、保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

10、期末保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

期末保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当事項なし	0	0	0
合計	0	0	0

11、補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の 記載区分
該当事項無し		0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	



1 2、基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当事項なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1 3、指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
該当事項なし	0
合計	0

1 4、関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の 名称	住所	資産 総額	事業の 内容又は 職業	議決権 の所有 割合	関係内容		取引の 内容	取引 金額	科目	期末 残高
						役員の 兼務等	事業場 の関係				
該当事 項なし											

1 5、キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に記載されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前期末		当期末	
現金及び現金同等物	984,394	現金及び現金同等物	1,692,871

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

(単位：円)

前期末	当期末
該当事項なし	該当事項なし

1 6、重要な後発事象

(1) 修正後発事象

該当事項なし。

(2) 開示後発事象

該当事項なし。

1 7、その他（資産負債及び正味財産の状況並びに正味財産増減の状況を明らかにすべき事項）

(1) 会計方針の記載にあわせて注記すべき事項

該当事項なし。

(2) 財務諸表の特定の科目との関連性を明らかにして注記すべき事項

該当事項なし。

(3) その他

該当事項なし。



第6期 監査報告

一般社団法人 国際工業塗装高度化推進会議

監事 望月 徳三



第6期 事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1、監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2、監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 貸借対照表・正味財産増減書・附属明細書・財務諸表に対する注記など、公益目的の支出にかかる報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

3、追記情報

なし